



羅針盤

平成30年4月20日(金)

高等専門学校・高等学校の入学検査（試験）制度について

ひと言で「入試」と言っても、入学検査（試験）制度にはさまざまなものがあります。生徒数の減少に伴い変更になる部分もありますが、参考までに昨年度のものを紹介します。

	検査（試験）の制度	検査（試験）の内容	備考	
国立	一般入試	学力検査（試験）・調査書		
	推薦入試	中学校長の推薦・調査書・推薦文・面接	推薦基準	
公立 長崎	学力検査	学力検査（試験）・調査書・面接		
	一般推薦	中学校長の推薦・調査書・推薦文・面接・小論文等	推薦基準	
	特別推薦	文化・スポーツの実績・面接・実技テスト・調査書・自己推薦文	自己推薦	
公立 佐賀	特色選抜試験	学力検査（試験）〈学力検査の成績の割合50%以上〉・調査書・面接		
	一般選抜試験	学力検査（試験）〈学力検査の成績の割合70%以上〉・調査書・面接		
私立	一般入試	学力検査（試験）・調査書・面接		
	推薦等	一般推薦	中学校長の推薦・調査書・面接等	推薦基準
		部活動推薦	高等学校が認める部活動の実績・中学校長の推薦・調査書・面接・作文等	推薦基準 奨学生 A・B・C
		学業奨学生	高等学校が定める学業成績・中学校長の推薦・調査書・面接・学科試験等	奨学生 A・B・C

* 推薦入試受検（受験）について

公立高等学校受検に際しては、中学校長を長とする推薦委員会の中で審議して受検を決定します（中学校長の推薦）。

国立・私立高等学校の受験についても、公立高等学校に準じて審議して受験を決定します。

* 推薦基準について

〈公立〉・・・裏面参照（学習態度が良好、生活態度が意欲的な者）

〈国立・私立〉・・・各学校によって異なる。（特に学業成績〈評定値〉を定めてある場合は、それを下回ると受験できない。）

* 私立高校奨学生制度（各高等学校によって異なる）

A・・・入学金、授業料等の全額免除等

B・C・・・入学金、授業料等の2/3～1/2免除等

◎基準に「行動や生活態度が意欲的である」とあるが、これには欠席日数も考慮される。

平成30年度 公立高等学校 一般推薦志願資格

(30年2月入試分)

次の(1)～(3)に示す要件のすべてを満たし、かつ(4)に示す各学校が独自に定める要件に該当する者で、中学校長の推薦を得た者とする。

- (1) 原則として、当該年度の中学校卒業見込みの者
- (2) 中学校における学習活動が良好で、行動や生活態度が意欲的である者
- (3) 当該高等学校を志願する明確な目的意識を有する者又は当該学科・コースに対する適性・興味・関心を有する者
- (4) その他、志願先高等学校長が定める志願資格を満たす者

☆ (4) の例

- * 中学校における学習成績が優れ、当該コースに対する適性・興味・関心を有する者。
- * 文化・スポーツの分野で優れた能力・実績を有している者。
- * 生徒会・ボランティア活動等、校内、校外で意欲的な活動をしている者。
- * 積極的な学習活動を行い、学校全体の学習面で活性化に貢献できる者。

★ 注意点 ★

学校を問わず、推薦受験をしてその学校に合格した場合は、必ずその高校へ入学しなければなりません。

なお公立高校一般入試で合格した場合も、必ずその高校に入学しなければなりません。